

組合員と共に創る農業・地域の未来

農業・農村の危機

- 担い手不足・担い手の高齢化
- 農業生産基盤の縮小・脆弱化
- 超高齢社会・人口減少
- 過疎化・人手不足 等

組織・事業・経営の危機

- 地域社会・経済の疲弊
- JA組織基盤の弱体化
- 事業取扱高の減少
- JA経営収支の悪化 等

協同組合の危機

- 組合員構成の変化・多様化によるわがJA意識の低下
- 協同組合に対する理解不足 等

JAグループ自己改革

「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦

「地域営農ビジョン」及び「JA地域農業戦略」の策定・実践を進め、担い手経営体のニーズに応えられるよう需要に応じた生産販売や、新たな需要開拓、生産コストの削減を実現し、「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」を実現します。

【実践事項】

1. 地域実態をふまえた担い手確保・育成と地域農業の体質強化
2. 地域営農ビジョンとJA地域農業戦略の策定・実践
3. 担い手経営体のニーズに応える個別対応の強化
4. 需要動向に対応した生産販売事業強化
5. 付加価値の増大と新たな需要開拓への挑戦
6. 省力・低コスト生産技術の普及拡大と生産資材価格の引き下げ
7. 地域農業戦略を推進する営農指導体制強化

豊かでくらしやすい地域社会の実現

正組合員はもとより准組合員の「意思反映」「運営参画」の強化を図り、組合員から評価されるJA事業・組合員組織活動等の展開を目指します。また、「JAくらしの活動」や「百歳元気プロジェクト」、JA総合事業の発揮により地域社会への貢献を果たします。

【実践事項】

1. 正・准組合員のメンバーシップの強化
2. 准組合員の「農」に基づくメンバーシップの強化
3. JAくらしの活動の実践強化と支店協同活動の推進
4. JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化
5. JA総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮
6. 地域の多様な組織との連携強化による役割発揮
7. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

「食」「農」「協同組合」にかかる国民理解の醸成

農政諸課題に対する政策提言と要請運動等により、持続可能な農業・地域社会の実現に向けた運動を展開します。また、広報活動を経営戦略・事業計画に位置付け、多様な広報手段を駆使しつつ情報発信のステップアップを図り、「食」「農」「協同組合」への国民理解の醸成に取り組みます。

<実践事項>

1. 食と農を基軸にした農政運動の展開
2. JA広報活動の位置づけの明確化・重点化と活動のステップアップ
3. 広報活動の重層的な展開と「食」「農」「協同組合」の国民理解醸成に向けた取り組み

持続可能な経営基盤の確立

コンプライアンス態勢の強化や人材の育成・確保、組織再編によって、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤を確立し、自己改革の着実な実践を図ります。また、その実践にあたっては、取り組み成果の発信と組合員との徹底した話し合いにより、自己改革取組施策の点検見直しと進捗管理に取り組みます。

- <実践事項>
1. 自己改革の着実な実践
 2. 自己改革を伝える取り組み
 3. 自己改革を支援する「新たな中央会」の構築
 4. 自己改革の実践を支える経営基盤の強化